

(24) 110
615

要 望 書

第53回中小企業団体富山県大会における
決議事項の実現についての要望

平成24年12月

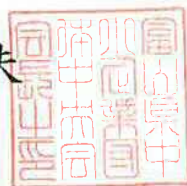


南砺市長

田 中 幹 夫 殿

富山県中小企業団体中央会

会 長 黒 田 輝 夫



第53回中小企業団体富山県大会における

決議事項の実現について要望

本会は、中小企業振興施策の強化充実と中小企業の経営維持発展を図るため、去る11月6日、名鉄トヤマホテルにおいて、第53回中小企業団体富山県大会を開催し、次の事項について決議を行いました。

つきましては、これらの実現について格別のご高配により適切な措置を講じられるよう要望します。

記

1. 国及び地方公共団体は、「官公需法」並びに「平成24年度中小企業者に関する国等の契約の方針」に基づき、中小企業者向け発注目標額を上回る契約実績の確保に努めるとともに、官公需適格組合の受注機会の増大を図るため、次の対策を講じられたい。また、国は、地方公共団体に対して国と同様の「契約の方針」の策定要請を徹底されたい。

- (1) 地元中小企業並びに官公需適格組合を優先活用し、発注額や発注件数を大幅に増やすこと。
- (2) 公共事業の発注にあたっては、分離・分割発注をいっそう

促進するとともに、適正価格による契約を推進するため、低
入札価格調査制度や最低制限価格制度の導入を行い、厳格な
運用を図ること。

(3) 公共調達制度全体の見直し・改善を行い、価格だけでなく、
雇用の維持・創出や地域産業育成の観点から少額随意契約の
適用限度額を引き上げること。

(4) 公共事業における資材及び労務費等積算基準の見直しを図
ること。

2. 高度成長期に整備された社会資本の多くが、構造基準の改正や
耐用年数の到来により、今後 10～20 年の間に更新のピークを迎え
る。社会資本整備を担い、防災など地域を守る建設業界が健全な
経営ができるよう、特定時期に集中させることなく、前倒しして
一定量を長期間計画的に投資されたい。

3. 人口減少、景気の低迷、産業構造の変化、都市機能の拡散など
により各地のまちの活力は低下している。国、県、市町村におい
ては、まちの活力を取り戻すため賑わいあふれるまちづくりなど

様々な支援策を講じているが、事業者、地域住民、行政等地域一
体となったまちづくりの取り組みに対する支援をさらに強化され
たい。

4. 北陸新幹線開業を目前に控え、今後首都圏等からの来訪者の増
加が見込まれることから、駅周辺と観光資源、商店街の回遊性向上
や魅力ある観光土産品の開発など、商業・サービス業の活性化につ
ながる施策を拡充するとともに、いつそうの誘致に努められたい。

5. 商店街組合等が設置するアーケード等の公共性が高い共同施設
の保守・修繕、解体及び撤去等に要する経費を助成されたい。